

「あそび」をとおして生きる力を育む

宮城県作業療法士会では、今年度も子どもの育ちについての研修会を企画いたしました。子どもは、何かができるようになるためにあそぶわけではありません。あそびのなかに心もからだも丸ごと入れて、一心不乱にあそびます。このようなあそび方は、子ども時代の特権であり、この体験こそが「人が生きていく力の土台」となります。

一方、この「あそぶことそのもの」の体験が、何らかの理由で妨げられてしまっている子どもたちに私たちは出会います。今回は、発達領域の作業療法士として多くの子どもたちと関わっていらっしゃる酒井康年先生をお招きし、子どもたちにとっての「あそび」という作業の意義、あそびを支援することの大切さやその支援の考え方についてお話しいたします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

さかい やすとし

●講師：酒井 康年先生（社会福祉法人からしだね うめだ・あけぼの学園 作業療法士）

- ・日本作業療法士協会理事
- ・日本感覚統合学会インストラクター
- ・著書：「発達に気になる子どもを地域で支援！保育・学校生活の作業療法サポートガイド」等

●開催日：平成30年10月8日（月・祝）

<午前>10:00~12:00（受付9:30~）

対象：子どもと関わる仕事に携わっている方・一般の方・作業療法士

テーマ：「あそび」をとおして子どもの生きる力を育む

午前は、他職種・一般の方と一緒に学びます。子ども時代にどっぷりたっぴりとあそぶことの大切さ、また上手くあそべない子どもへの支援の考え方についてお話しいたします。

会場：東北文化学園大学 大講義室（先着200名）

参加費：他職種・一般・学生 1,000円 宮城県作業療法士会員 2,000円 非会員 4,000円



<午後>13:30~15:30（受付13:00~）

対象：作業療法士

テーマ：「あそび」をとおして子どもの生きる力を育む

～事例から学ぶ発達領域作業療法の実践～

午後は、作業療法士で勉強いたします。あそびたくてもあそべない子どもたちについての理解をより一層深め、酒井先生の事例をとおしながら、「あそびを支援する」ということの方やその大事な視点について、実践的な内容で教えていただきます。

会場：東北文化学園大学 作業療法評価実習室Ⅰ（先着50名）

参加費：宮城県士会員 2,000円 非会員 4,000円 学生 1,000円

●申し込み方法：宮城県作業療法士会 HP をご確認ください。(web 申込みのみ)

<http://www.miyagi-ot.jp/>

<締め切り>9月28日(金) 定員となり次第締め切ります。連絡がなければ参加可能です。

●作業療法士および学生の方への注意事項：

- 日本作業療法士協会生涯教育制度基礎コースポイントがつきます
(午前1ポイント・午後2ポイント)。
- 本研修会の午前の部は、宮城県作業療法士会の地域支援事業の一環として実施するものです。
午前の研修につきまして、宮城県士会員以外の作業療法士の方の他職種・一般としての参加はくれぐれもご遠慮いただきますようお願いいたします。
- 午後の研修につきましては、宮城県士会員が優先となりますことをご了承ください。
- 学生の方は、当日、学生証の提示をお願いいたします。

●問合わせ先：

宮城県作業療法士会 特別支援教育推進委員会

[本多ふく代 fhonda@rehab.tbgu.ac.jp](mailto:fhonda@rehab.tbgu.ac.jp)